



おざき
みつのり
充典

おざきの議会質問 8年間の軌跡

H27年3月議会で 8年間の総括を一般質問

《質問項目》議会改革・24時間365日断らないER救急・西真美・真美が丘・五ヶ所地区の交通安全対策・児童虐待防止・校庭の芝生化・高校の授業料無償化・介護職の処遇改善・関西広域連合未加入問題・民間企業経験者の採用・消防の広域化・精神障害者への医療費助成・骨髄バンクドナー登録者を増やす取組・男女共同参画・企業誘致・障害者のスポーツの機会充実・県庁での雇用促進

今回の総括的質問が奈良新聞に取り上げられました

よ 譜 はら 原 國

2月23日に開会した県議会の2月定例会は、代表質問に6議員、一般質問に9議員の計15議員が立った。予算議会ながら少し異質な雰囲気があった▼理由

はもちろん、統一地方選挙で行われる知事選と県議選を控えているからだ。既に今限りでの勇退を表明している議員は、質問の冒頭にお別れあいさつも▼県議選への出馬を予定している議員も、選挙でめでたく当選となれば「新議会でまた論戦を交わしたい」と意欲を語った議員諸氏の思いはいさ選挙へ、だろっ▼そうした思いがあるせいか、「論戦」はあまり見受けられなかった。はつとしたのは、尾崎充典氏(民主党)が、これまでの自身の議会活動を総括してみせたことだ▼通告していた質問を始める前に、延々と論議となった点などについて展開。いつになったら本題の質問が始まるかと当方が心配になるほどの熱弁が続いた▼この姿勢は貴重だ。県政は一つ一つの取り組みの積み上げであり、その歩みを振り返りながらしか前に進めない。議員側も、それぞれが何を積み上げたかを表明すべきだ。付け焼刃では、はれるが。(北)

H27. 3. 7